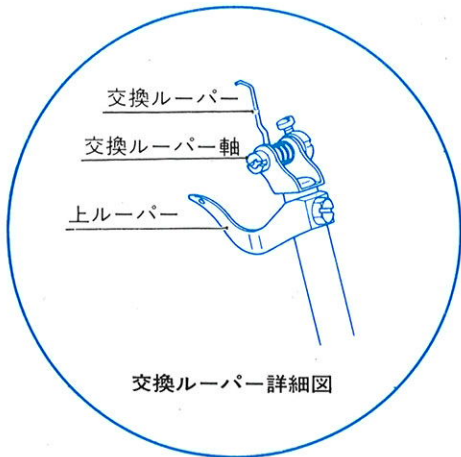


EXCIMA α

® **ヘビ-ロック** / BL3-4 | 8型

ご使用のてびき

株式会社 **ジューキ**



交換ルーパー

交換ルーパー軸

上ルーパー

交換ルーパー詳細図

押え調節ネジ

切換糸案内

照明ライト

上メス

針板

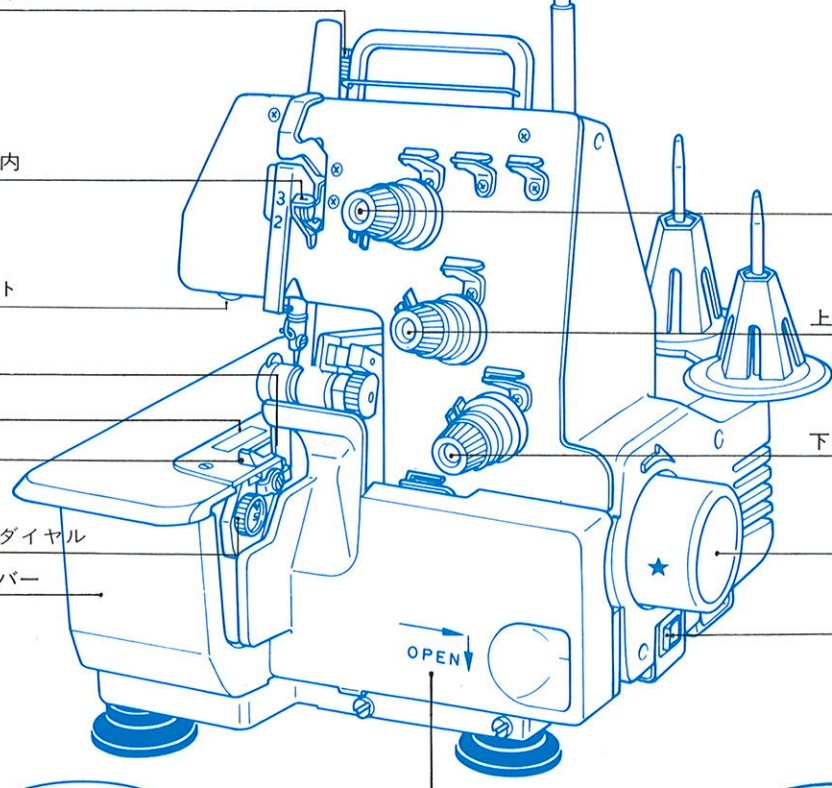
押え金

イージーダイヤル

下側面カバー



糸立棒



針糸調子器

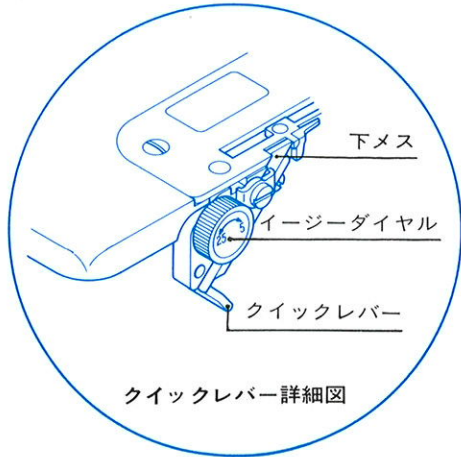
上ルーパー糸調子器

下ルーパー糸調子器

はずみ車

照明スイッチ

メスカバー

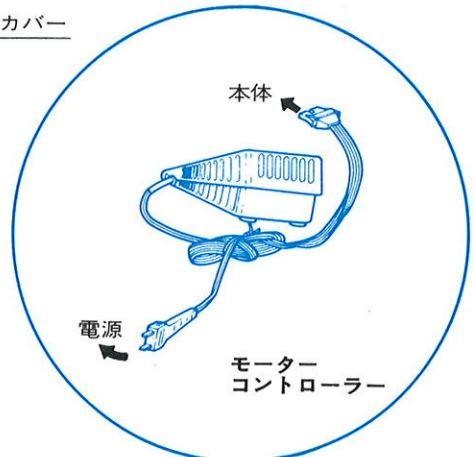


下メス

イージーダイヤル

クイックレバー

クイックレバー詳細図



本体

電源

モーター
コントローラー

※安全のため使用後は電源プラグを抜いてください。
また、コントローラーの上に物をのせないでください。

はじめに

このたびは、ベビーロックBL3-418型「エクシムα」をお買上げ戴きまして、誠にありがとうございます。

「エクシムα」は、ロックミシン全ての機能と優れた性能・操作性を備えた弊社の秀作です。このてびきをよく読んで、正しく末永くご愛用ください。

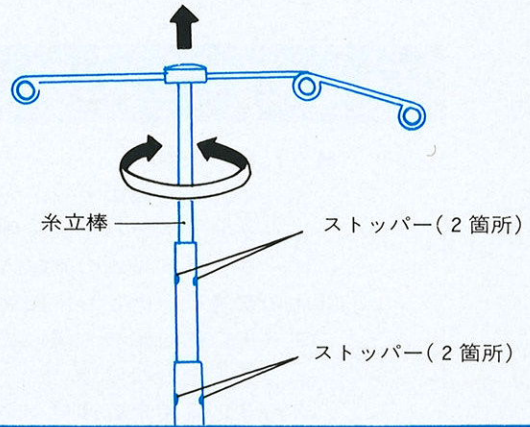
目 次

1. 縫うための準備	2
1-1. 糸立棒のセット	2
1-2. メスカバー・下側面カバーの開け方	2
1-3. はずみ車の回転方向と針最下点位置	2
2. 3本糸普通ロックとして使用する場合	3
2-1. 縫い始め・縫い終わり	3
2-2. 糸のかけ方	4
2-3. 3本糸普通ロックの場合の各部のセット	5
2-4. 糸調子器の操作	6
2-5. 3本糸普通ロックの糸調子のとり方	7
3. 3本糸普通ロック・3本糸巻きロック } の切換操作	8
2本糸普通ロック・2本糸巻きロック }	
3-1. 3本糸・2本糸の切換操作	8
3-2. 普通ロック・巻きロックの切換操作	9
4. 3本糸巻きロックとして使用する場合	10
4-1. 3本糸巻きロックの場合の各部のセット	10
4-2. 3本糸巻きロックの糸調子のとり方	10
5. 2本糸普通ロックとして使用する場合	12
5-1. 2本糸普通ロックの場合の各部のセット	12
5-2. 2本糸普通ロックの糸調子のとり方	12
6. 2本糸巻きロックとして使用する場合	13
6-1. 2本糸巻きロックの場合の各部のセット	13
6-2. 2本糸巻きロックの糸調子のとり方	13
7. 使用糸と簡単な糸交換	14
7-1. 使用糸	14
7-2. 簡単な糸交換	14
8. かがり幅の調節	15
9. 補助押えの調節	16
10. 押え圧力の調節	16
11. 送り目の調節	17
12. 針の交換	17
13. メスの交換	18
13-1. 下メスの取りかえ方	18
13-2. 上メスの取りかえ方	18
14. 照明ライトの点灯と取付	19
14-1. 照明ライトの点灯	19
14-2. 照明ライトの取付	19
15. 注油について	19
16. 布地と糸の関連表	20

1 縫うための準備

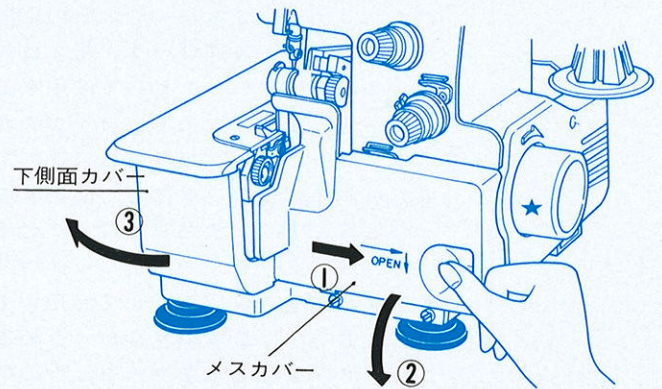
1-1 糸立棒のセット

- ① 糸立棒をいっぱい伸ばす。
- ② 糸立棒を回転させてストッパーで位置決めする。



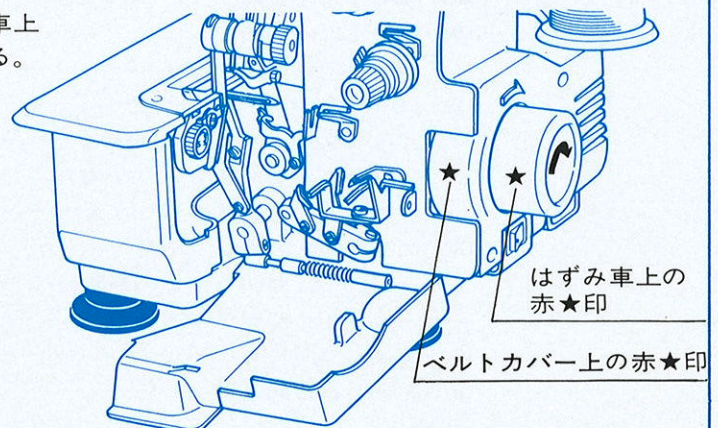
1-2 メスカバー・下側面カバーの開け方

- ① メスカバーを右へいっぱい引く。
- ② 右へ引いたままメスカバーを手前に倒す。
- ③ 下側面カバーを左へ開ける。



1-3 はずみ車の回転方向と針最下点位置

- ① はずみ車は矢印方向に回転する。
- ② 針最下点位置は、メスカバーを開け、はずみ車上の赤★印とベルトカバー上の赤★印を合わせる。

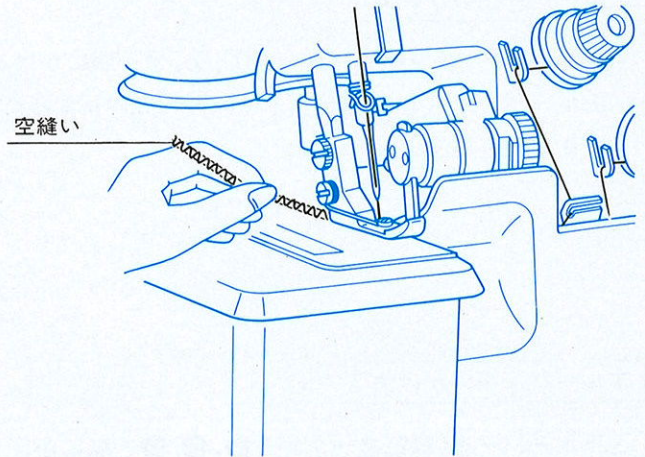


2 3本糸普通ロックとして使用する場合

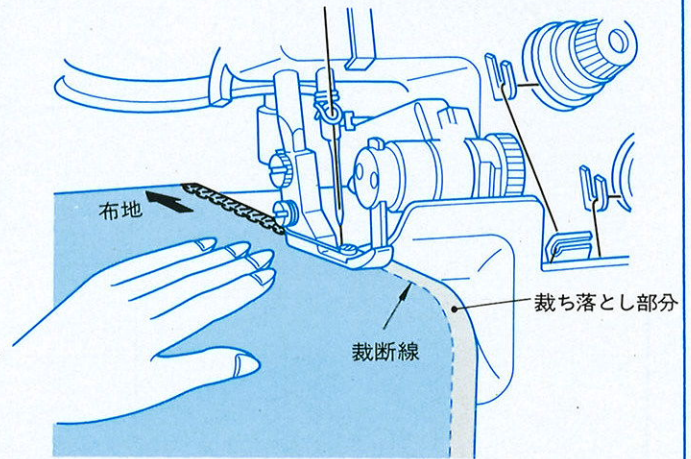
このミシンはあらかじめ、3本糸普通ロック用としてセットされておりますので、そのままご使用になります。

2-1 縫い始め・縫い終わり

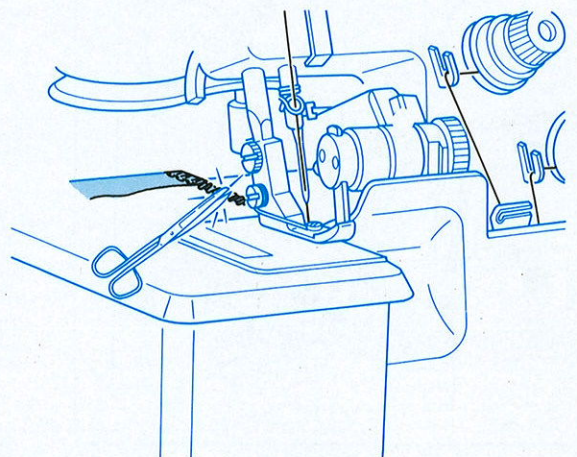
- ① あらかじめセットされている糸の空縫いを左手で少し張りぎみにつまむ。
- ② 右手ではずみ車を矢印方向に2～3回まわし、糸のからみ具合を確認する。



- ③ 布地の裁断線を針板の右端に合わせて縫いはじめる。



- ④ 縫い終わりは布地の端から2～5cm長く空縫いをして、切る。



2-2 糸のかけ方(下側面カバーを左に開けますと、糸かけ案内図が貼付してあります。ご参照ください。)

※糸は必ず、真中(上ルーパー糸)、次に向って右側(下ルーパー糸)、最後に左側の糸(針糸)の順にかけます。

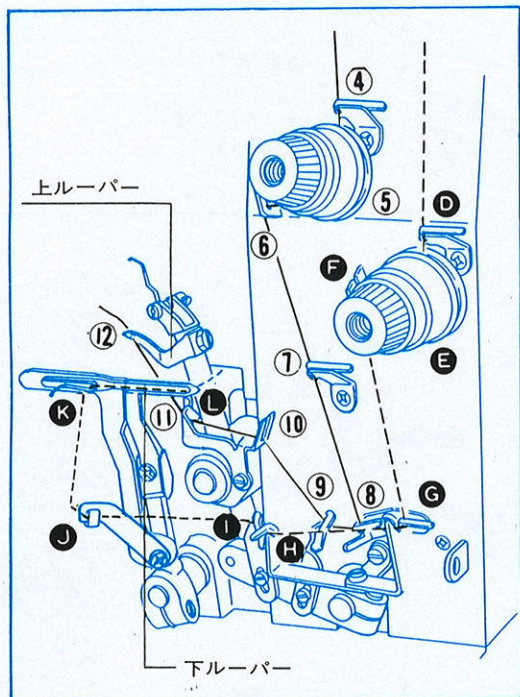
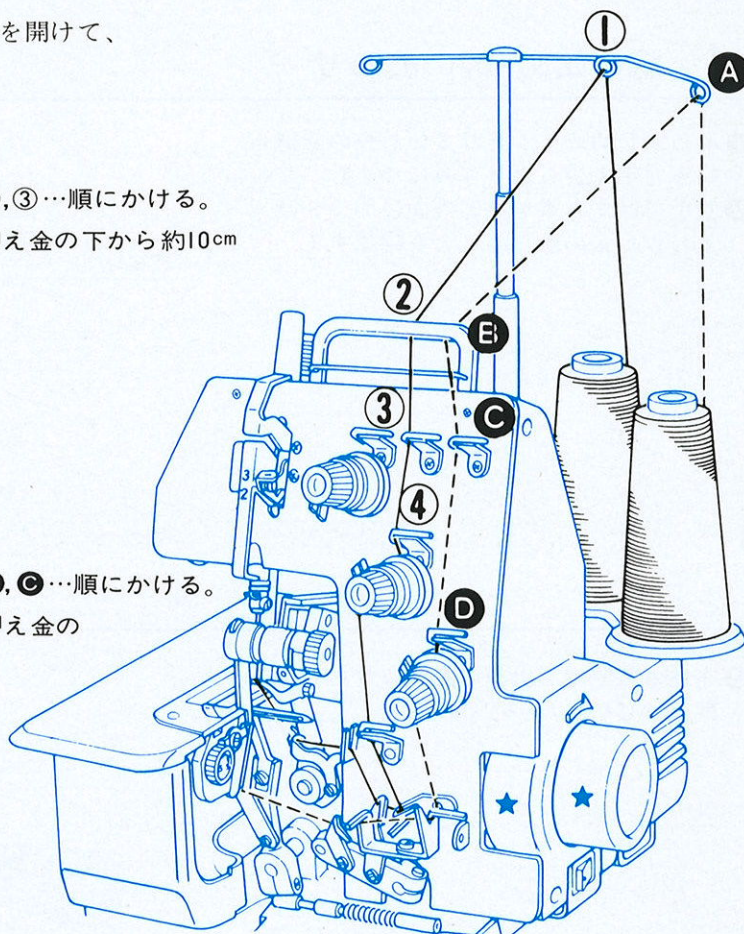
糸かけは、メスカバー・下側面カバーを開けて、行ないます。

上ルーパー糸のかけ方

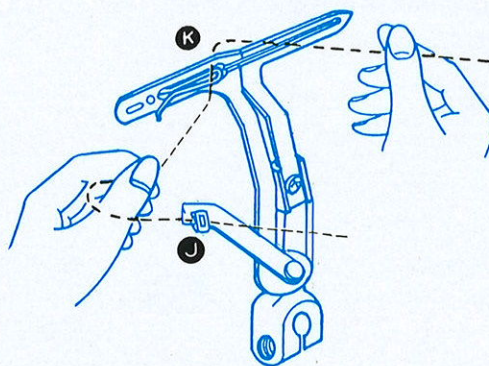
- ・上ルーパー糸(黄色マーク)を①,②,③…順にかける。
- ・上ルーパー糸穴②に通した糸は、押え金の下から約10cm引き出しておく。

下ルーパー糸のかけ方

- ・下ルーパー糸(緑色マーク)をA, B, C…順にかける。
- ・下ルーパー糸穴Lに通した糸は、押え金の下から約10cm引き出しておく。

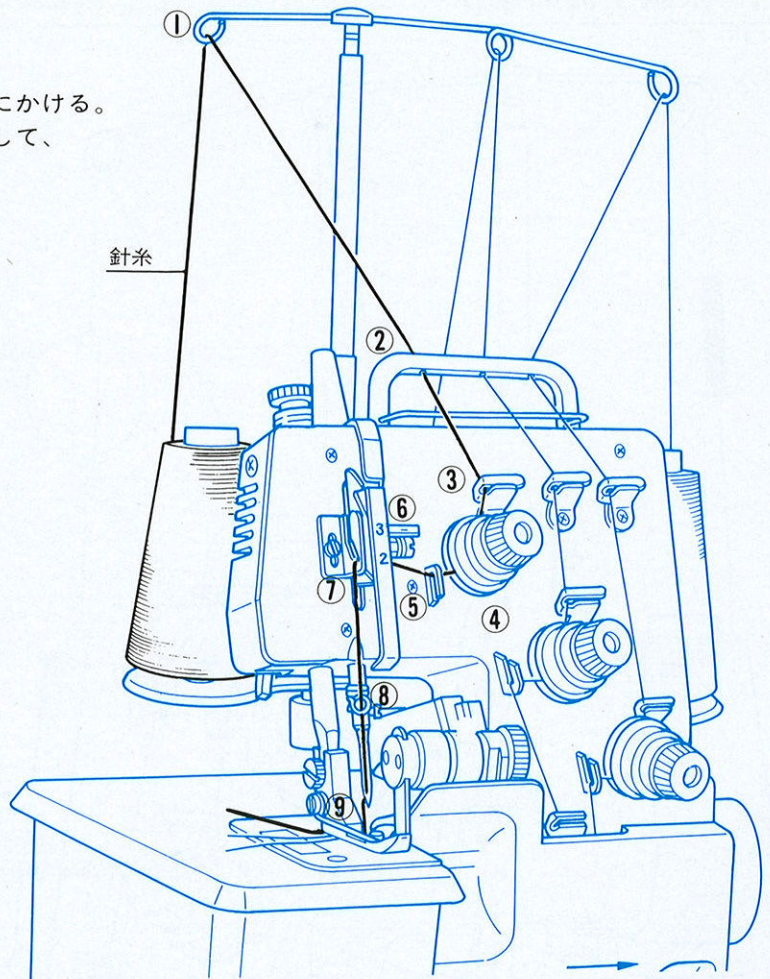
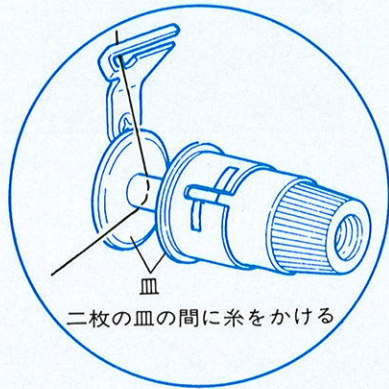


下ルーパー糸案内J, Kには下図のように糸をかける。



針糸のかけ方

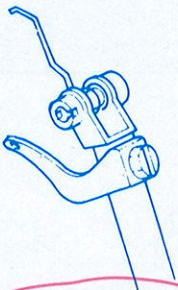
- 針糸（朱色マーク）を①②③…順にかける。
- 針穴には手前側から向こう側に通して、押え金の下から約10cm引き出す。



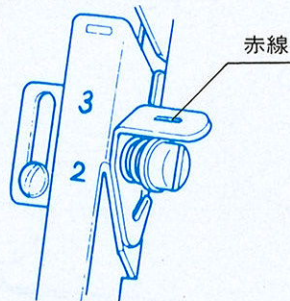
2-3 3本糸普通ロックの場合の各部のセット

このミシンはあらかじめ3本糸普通ロック用として下図のように各部がセットされております。

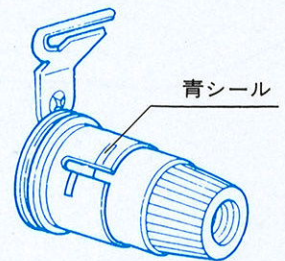
①交換ルーパー



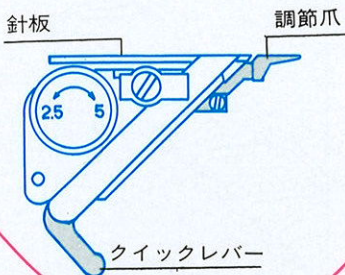
②切換糸案内



③糸調子ツマミ

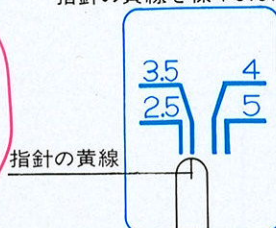


④クイックレバー



⑤かがり幅指針

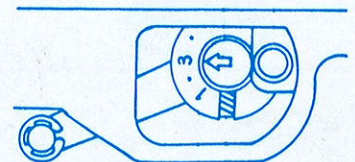
指針の黄線を標準3.5にセット



かがり幅の調節はP15参照

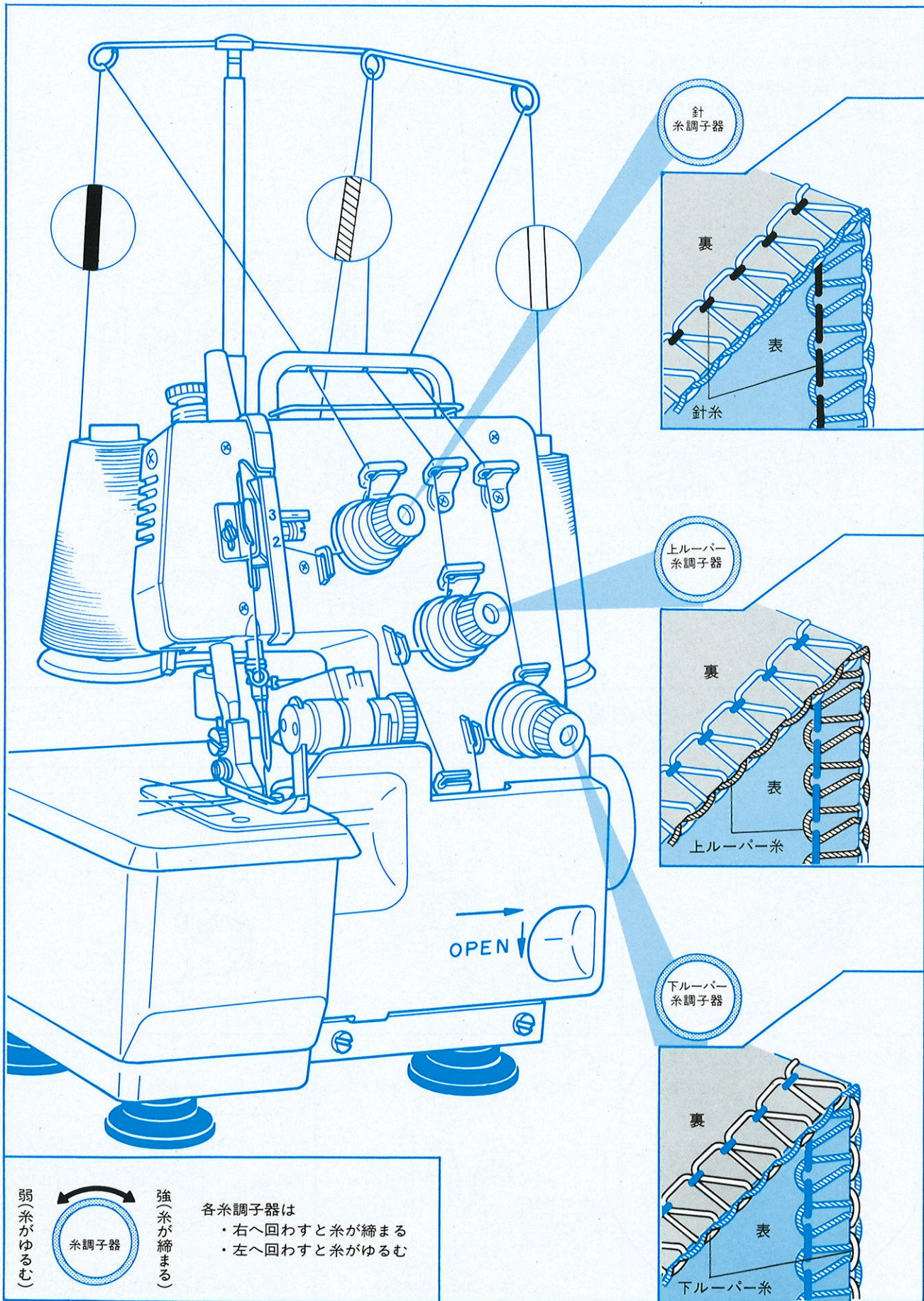
⑥送り目

標準3



送り目の調節はP17参照

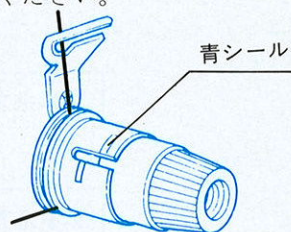
2-4 糸調子器の操作



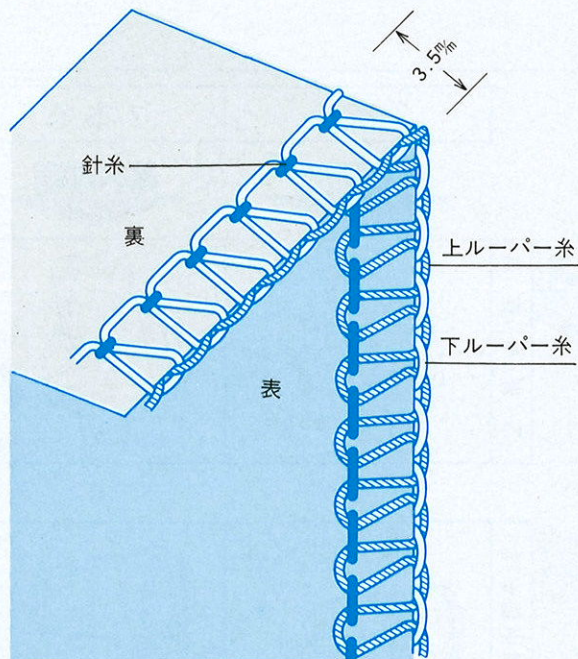
2-5 3本糸普通ロックの糸調子のとり方

糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても異なりますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節してください。

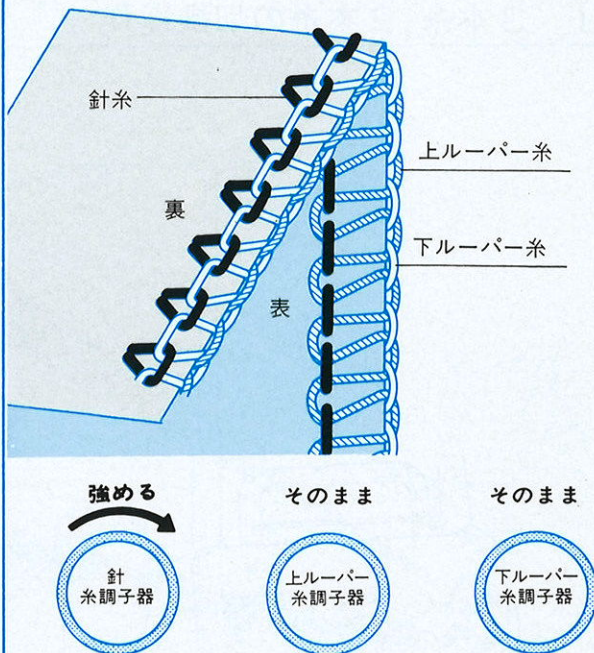
まず、各糸調子器を青シール中央に合わせてから縫い目を見て微調整してください。



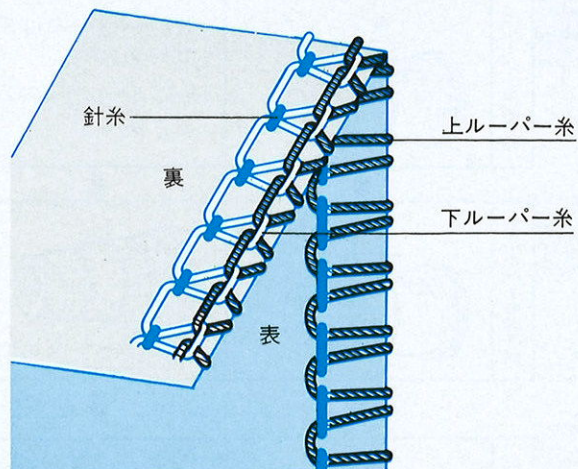
美しいかがり目



●針糸が弱い場合



●上ルーバー糸が弱い・又は下ルーバー糸が強い場合



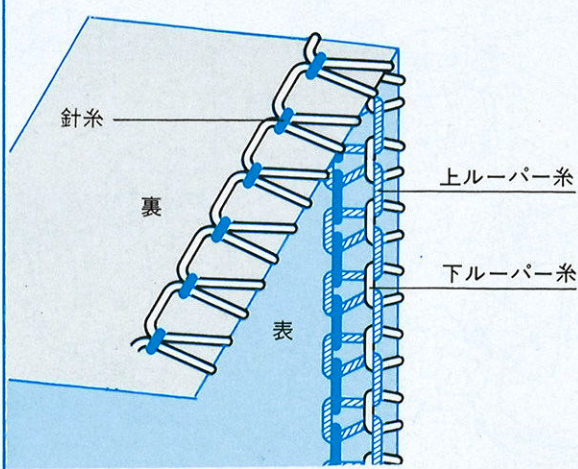
そのまま

強める

弱める



●下ルーバー糸が弱い・又は上ルーバー糸が強い場合



そのまま

弱める

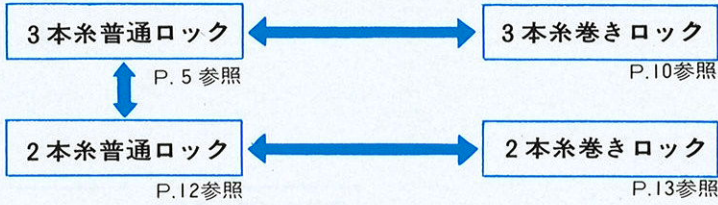
強める



3

3本糸普通ロック・3本糸巻きロックの切換操作 2本糸普通ロック・2本糸巻きロック

このミシンは、あらかじめ3本糸普通ロックとしてセットされておりますが、3本糸巻きロック又は2本糸普通ロック・巻ロックとしてご使用になる場合、下記の手順に従い、正しく切換操作してください。



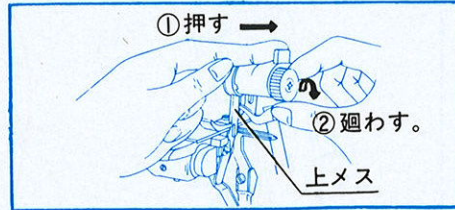
3-1 3本糸・2本糸の切換操作

	3本糸	2本糸
切換糸案内	<p>赤線 上げる</p>	<p>下げる 赤線</p>
針糸調子器	<p>青シールの位置</p>	<p>赤シールの位置</p>
上ルーバー糸調子器	<p>青シールの位置</p>	<p>上ルーバー糸は使用しません。 糸はルーバーの穴より抜く。</p>
下ルーバー糸調子器	<p>青シールの位置</p>	<p>赤シールの位置</p>
交換ルーバー	<p>押して回す 押す</p>	<p>押して回す 穴に入れる 押す</p>

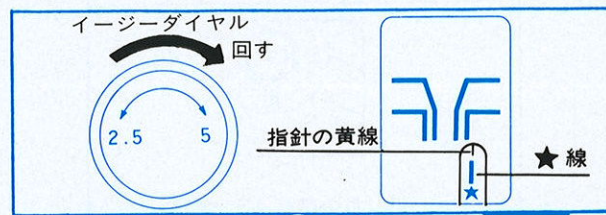
3-2 普通ロック・巻きロックの切換操作

(※メスカバーを開くと下記の手順シールが貼付されております。参照ください。)

- ①メスカバー・下側面カバーを開く。
- ②針及び押え金を上げ、針板爪の空環を外す。
- ③上メスを押しながら、上に回転させる。

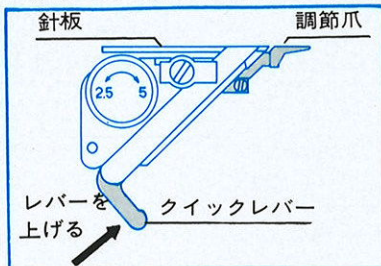


- ④はずみ車上の赤★印をベルトカバー上の赤★印に合わせる。(針最下点)
- ⑤イージーダイヤルを「5」の方向に回し、指針の黄線を★線に合わせる。

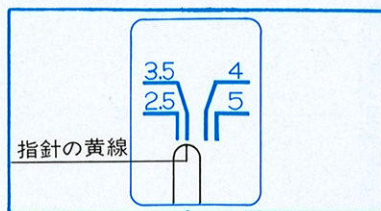


〔普通ロックの場合〕

- ⑥クイックレバーをパチンと音がするまで上にあげる。(調節爪先端が針板上面と一致)

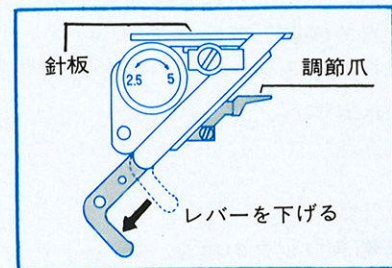


- ⑦イージーダイヤルを回し、指針の黄線を「2.5～5」にセット。

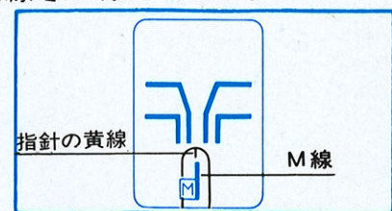


〔巻きロックの場合〕

- ⑥クイックレバーを下にさげる。



- ⑦イージーダイヤルを回し、指針の黄線をM線にセット。

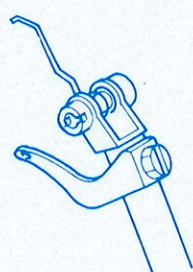
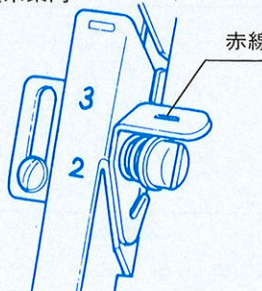
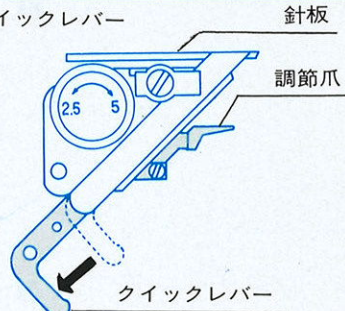
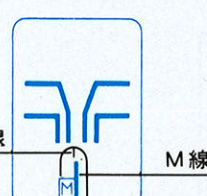
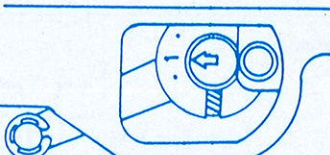


- ⑧上メスを元の位置に戻し、押え金を下げる。
- ⑨メスカバー・下側面カバーを閉める。

④・イージーダイヤルを回す時は、上メスが上に回転している事を確認。
 ・クイックレバーを操作する時は、針が最下点である事を確認。

4 3本糸巻きロックとして使用する場合

4-1 3本糸巻きロックの場合の各部のセット

<p>①交換ルーバー</p> 	<p>②切換糸案内</p> 	<p>③クイックレバー</p> 
<p>④かがり幅指針</p> <p>指針の黄線をM線にセット</p>  <p>かがり幅の調節はP15参照</p>	<p>⑤送り目</p> <p>標準1.5</p>  <p>送り目の調節はP17参照</p>	

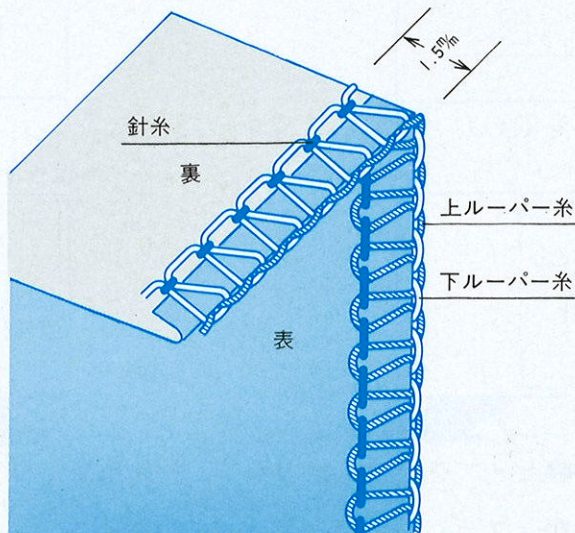
4-2 3本糸巻きロックの糸調子のとり方

3本糸巻きロックの場合、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」の2通りの縫い方が出来ます。

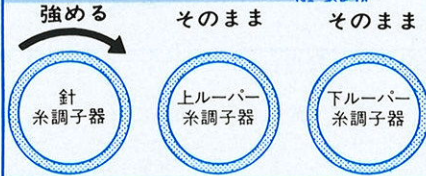
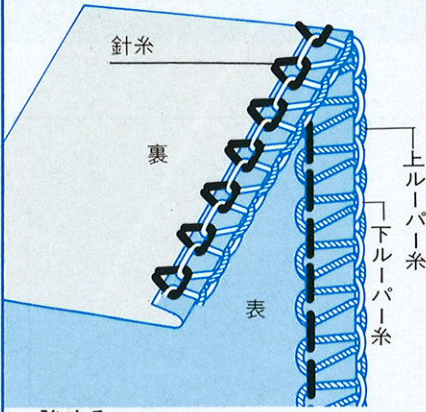
糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても異なりますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節してください。

又、「3本糸巻きロック」の場合、「3本糸普通ロック」の糸調子よりも全体的に強めに各糸調子器をセットしてください。

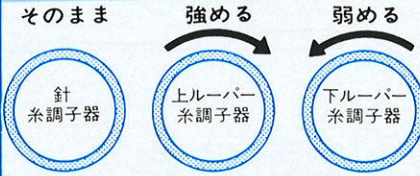
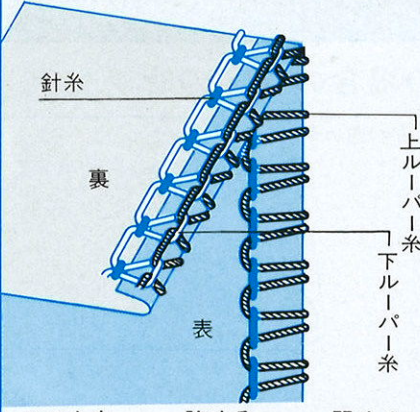
①標準巻きロックの場合



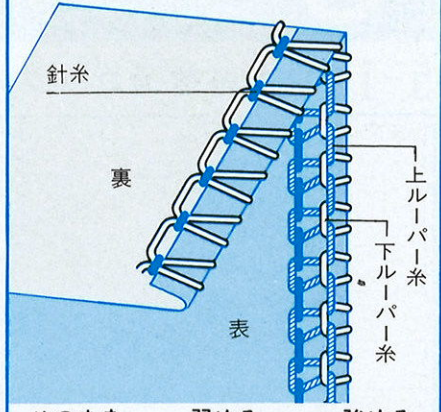
●針糸が弱い場合



●上ルーバー糸が弱い・
又は下ルーバー糸が強い場合

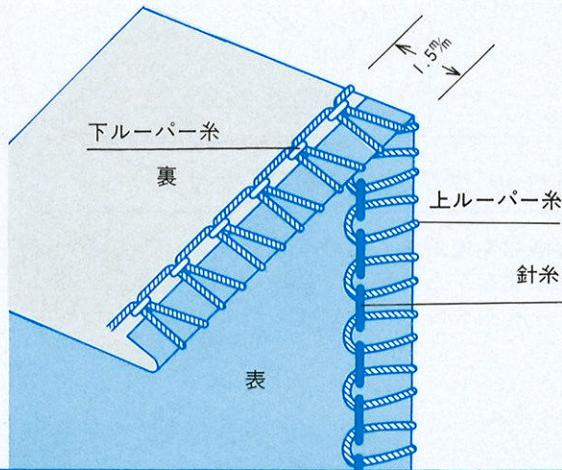


●下ルーバー糸が弱い・
又は上ルーバー糸が強い場合

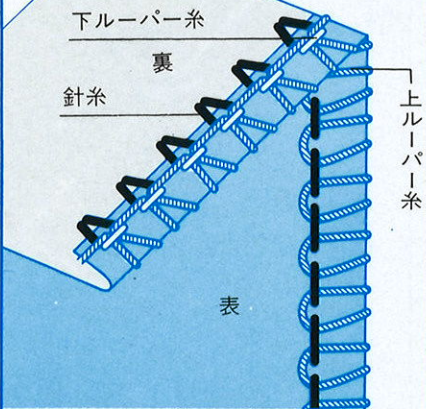


②変形巻きロックの場合

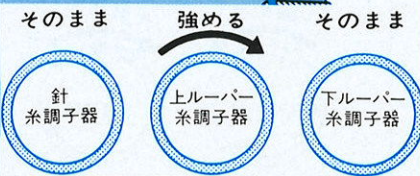
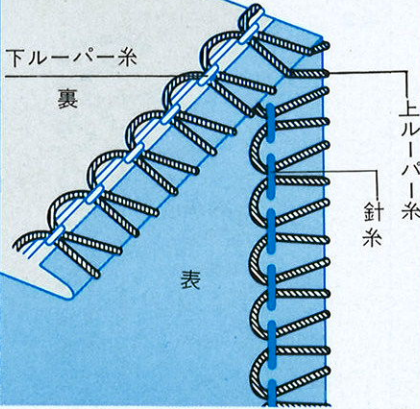
変形巻きロックは上ルーバー糸が裏側まで完全に巻き込んだ状態の縫い目となります。



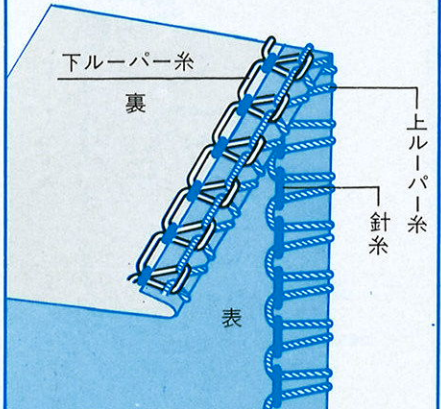
●針糸が弱い場合



●上ルーバー糸が弱い場合

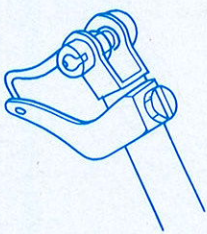
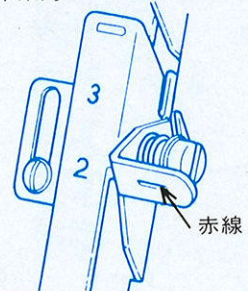
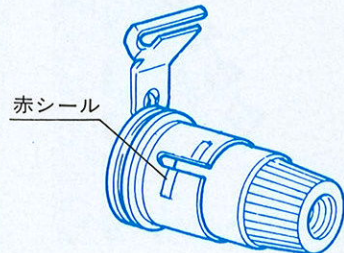
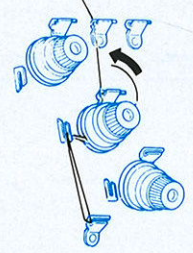
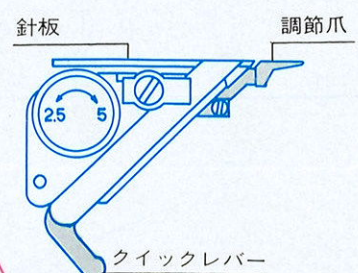
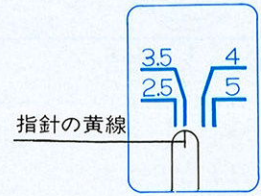


●下ルーバー糸が弱い・
又は上ルーバー糸が強い場合



5 2本糸普通ロックとして使用する場合

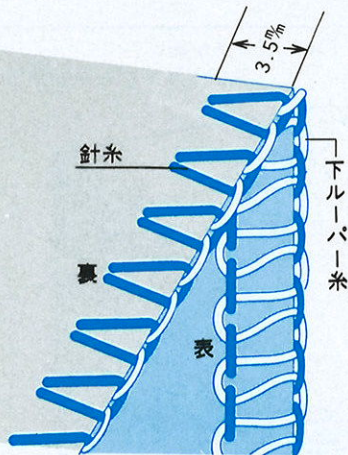
5-1 2本糸普通ロックの場合の各部のセット

<p>①交換ルーバー</p> 	<p>②切換糸案内</p> 	<p>③糸調子ツマミ</p>  <p>赤シール</p>
<p>④上ルーバー糸</p>  <p>2本糸の場合、上ルーバー糸は使用しない。上ルーバー糸を上ルーバーの所で切り、図の様に糸調子器にはさむ。</p>	<p>⑤クイックレバー</p> 	<p>⑥かがり幅指針</p>  <p>指針の黄線を標準 3.5にセット</p> <p>かがり幅の調節はP15参照</p>

5-2 2本糸普通ロックの糸調子のとり方

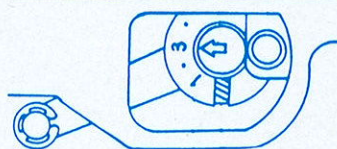
糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても異なりますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節して下さい。まず、各糸調子器を赤シール中央に合わせてから縫い目を見て微調整して下さい。

美しいかがり目



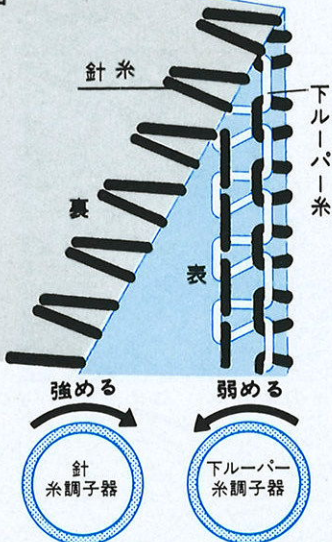
⑦送り目

標準 3

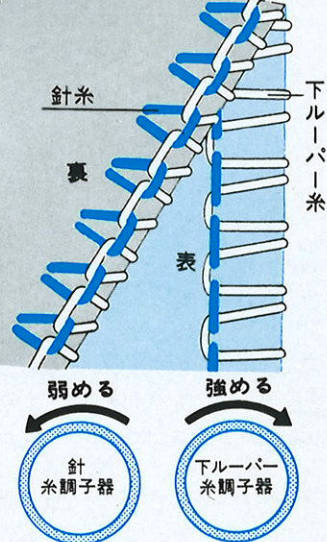


送り目の調節はP17参照

●針糸が弱い・又は下ルーバー糸が強い場合



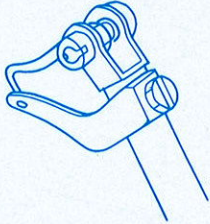
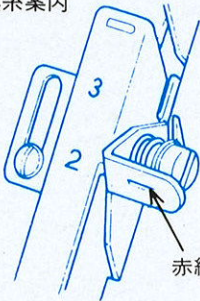
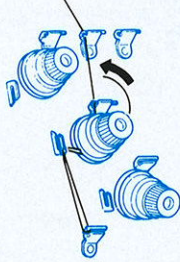
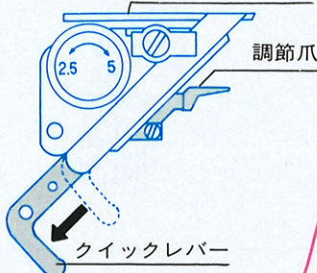
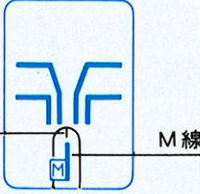
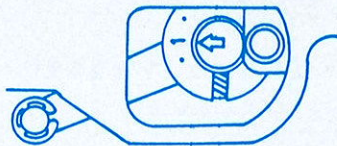
●下ルーバー糸が弱い・又は針糸が強い場合



6

2本糸巻きロックとして使用する場合

6-1 2本糸巻きロックの場合の各部のセット

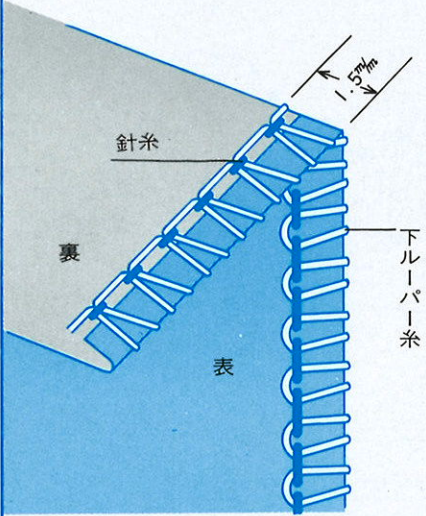
<p>①交換ルーバー</p> 	<p>②切換糸案内</p>  <p>赤線</p>	<p>③上ルーバー糸</p>  <p>2本糸の場合、上ルーバー糸は使用しない。上ルーバー糸を上ルーバーの所で切り、図の様に糸調子器にはさむ。</p>
<p>④クイックレバー</p>  <p>針板 調節爪 クイックレバー</p>	<p>⑤かがり幅指針</p>  <p>指針の黄線をM線セット 指針の黄線 M線</p> <p>かがり幅の調節はP15参照</p>	<p>⑥送り目</p>  <p>標準 1.5 送り目の調節はP17参照</p>

6-2 2本糸巻きロックの糸調子のとり方

糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても異なりますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節してください。

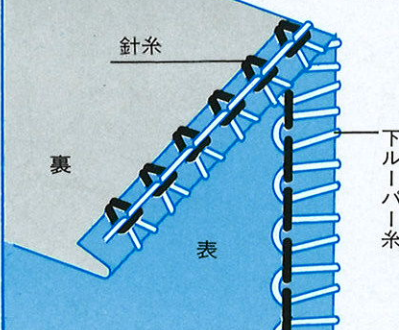
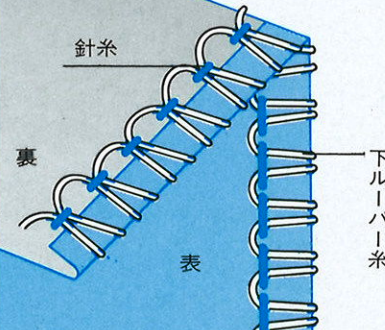
又、「2本糸巻きロック」の場合、「2本糸普通ロック」の糸調子よりも、強めに針糸調子器、及び下ルーバー糸調子器をセットしてください。

美しいかがり目



針糸
裏
表
下ルーバー糸

1.5mm

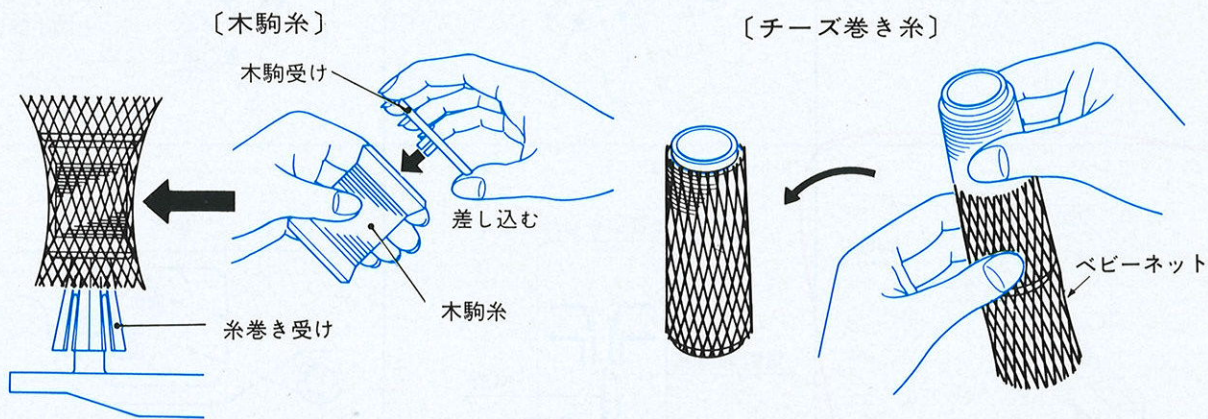
<p>●針糸が弱い・又は下ルーバー糸が強い場合</p>  <p>針糸 裏 表 下ルーバー糸</p> <p>強める (針糸調子器) 弱める (下ルーバー糸調子器)</p>	<p>●下ルーバー糸が弱い場合</p>  <p>針糸 裏 表 下ルーバー糸</p> <p>そのまま (針糸調子器) 強める (下ルーバー糸調子器)</p>
---	---

7 使用糸と簡単な糸交換

7-1 使用糸

このマシンには普通チーズ巻き（又コーン巻き）の糸を使いますが、木駒糸もお使いになれます。この場合、次のように付属の木駒受けを木駒の穴に差し込んで糸巻き受けの上にのるようにセットしてください。

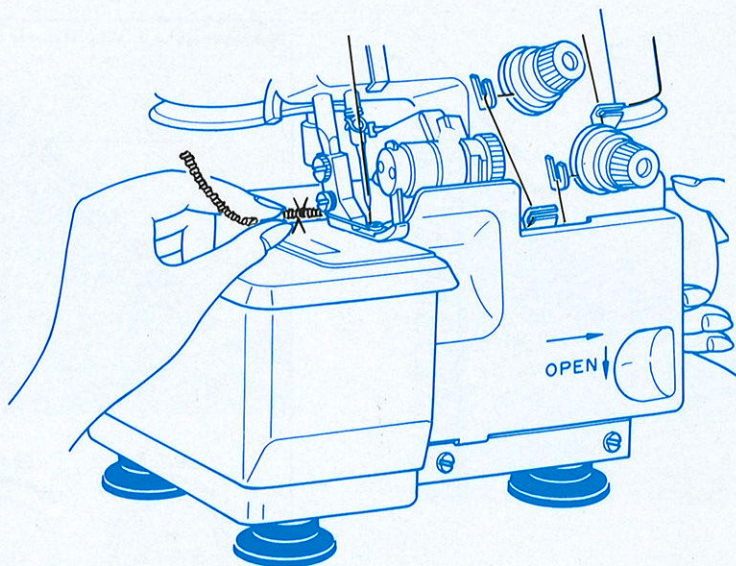
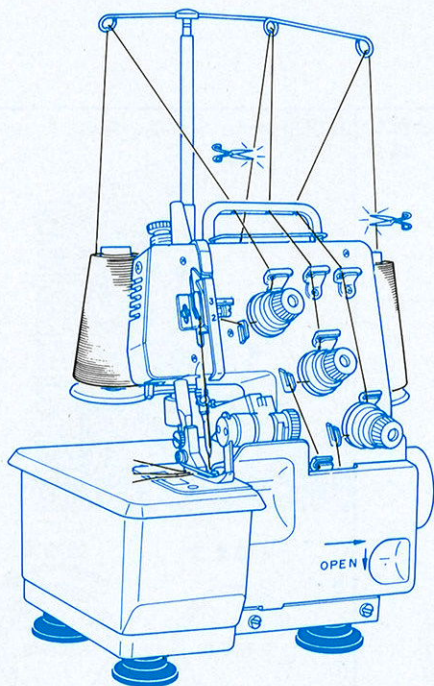
又、化繊糸などのほつれやすい糸は、付属のベビーネットをご使用下さい。



7-2 簡単な糸交換

このマシンはあらかじめ糸がセットされておりますが、使用中の針糸、上ルーパー糸あるいは下ルーパー糸を、色糸など別の糸と交換してお使いになる場合は、次のようにしていただくと便利です。

- ①上ルーパー糸及び下ルーパー糸を糸巻きの近辺で図のように切り、交換する糸と結ぶ。
- ②上・下ルーパー糸の結び目が押え金のうしろに出るまで空縫いする。
- ③針糸を好みの糸にかけ換える。



8 かがり幅の調節

3本糸・2本糸普通ロックの場合、素材又はお好みに応じて、かがり幅を2.5mm～5.3mmまで変える事が出来ます。

以下の手順に従って、正しく調節してください。

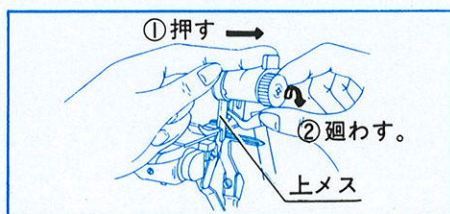
①メスカバーを開く。



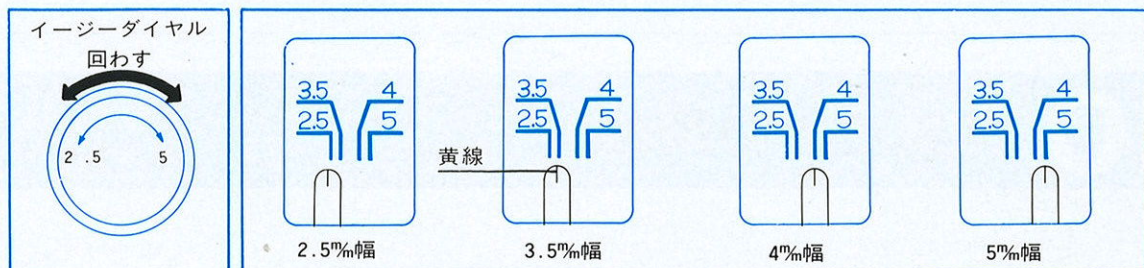
②針及び押え金を上にあげ、針板爪の空環を外す。



③上メスを押しながら、上に回転させる。



④イージーダイヤルを回して、指針の黄線を希望のかがり幅にセットする。



※指針の黄線を★線に合せると最大5.3mmのかがり幅にセット出来ます。

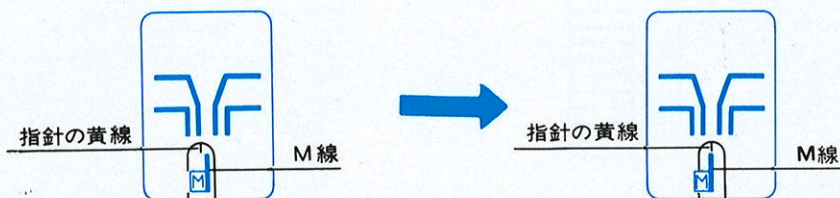


⑤上メスを元の位置に戻し、押え金をさげる。



⑥メスカバーを閉める。

★巻きロックの場合、通常指針の黄線をM線に合わせますが、伸びやすい素材やバイヤスの場合M線の位置より少し右の方に指針の黄線をセットした方が、きれいに仕上がる場合もあります。



9 補助押えの調節

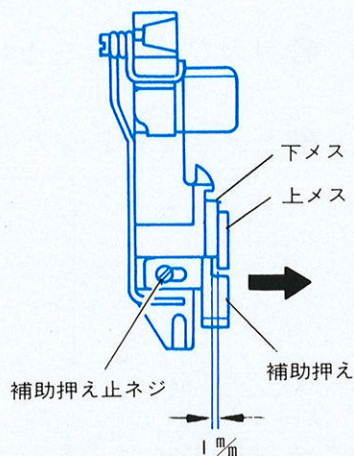
通常、補助押えの調節の必要はありませんが、薄物を4mm以上の幅でかかる時布端がバタつく事があります。

その場合は補助押え止ネジをゆるめ補助押えを右へ移動させますが、補助押えと上メスの隙間は1mmほど開けておきます。

(かがり幅が4mmより狭い場合は補助押えの調節は必要ありません。)

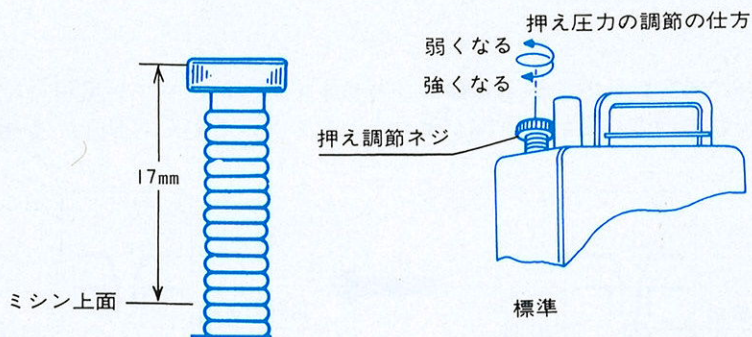
注意

- 再びかがり幅を4mm以下に戻す時は、必ず、補助押えも、元に戻して下さい。



10 押え圧力の調節

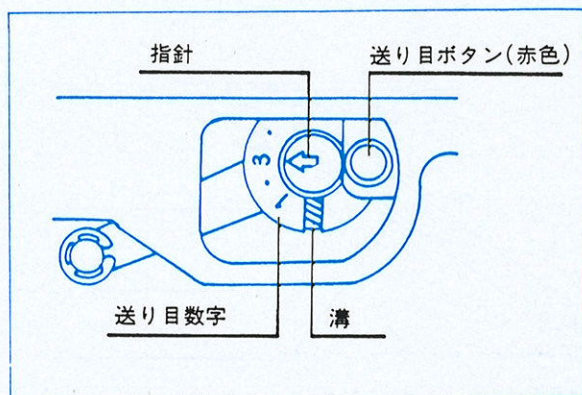
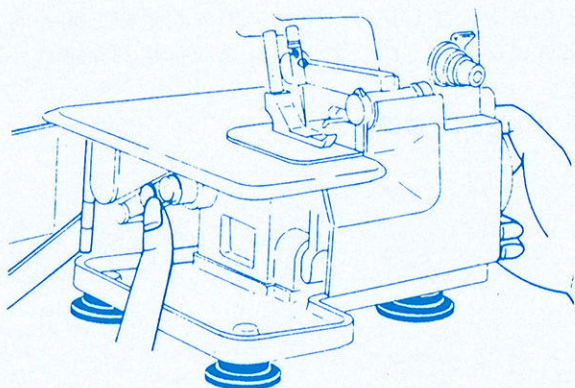
このミシンはすでに押え圧力を標準（中厚物用）に調節してあります。極薄物、極厚物の場合のみ調節してください。薄い生地には押え圧力を弱くし、厚い生地には押え圧力を強くします。



11 送り目の調節

送り目の調節は下側面カバーを開いて行ないます。

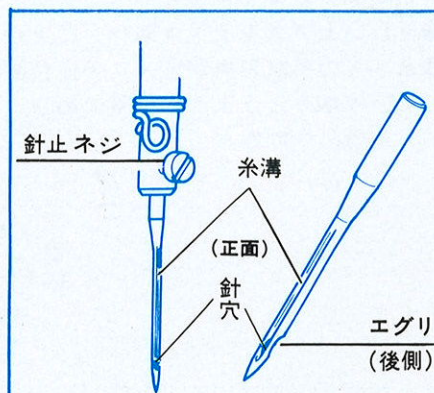
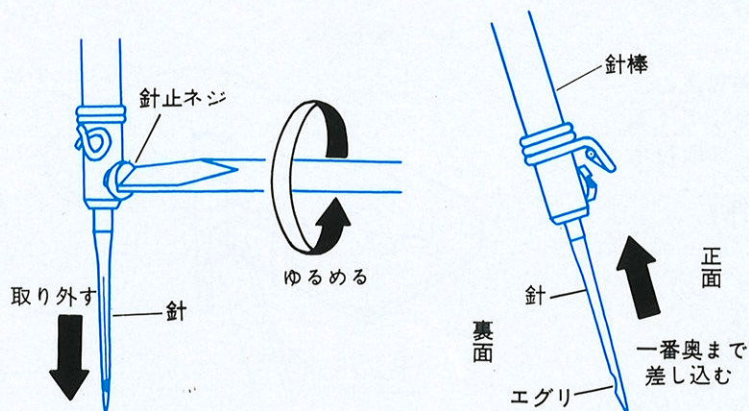
- ① 左手で送り目ボタン(赤色)を強く押しながら、溝に送り目ボタンがパチンと入るまで、右手ではずみ車を廻らす。
- ② 送り目ボタンが溝に入ったまま(送り目ボタンを押し続けた状態で)、再び、はずみ車を廻らすと、指針が動きます。この時、指針を希望の送り数字に合わせる。



12 針の交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

- ① はずみ車を矢印方向に廻らし、針を上にする。
 - ② 針止ネジをゆるめて針を取り外す。
 - ③ 新しい針のエグリを後側にして、針棒の穴の一番奥まで差し込み、針の向きが狂わないように手でしっかり押え、針止ネジを固く締めつける。
- ※尚、このミシンの使用針 DC×1 には、正面及び裏面に糸溝がありますので、取り付けにはご注意ください。



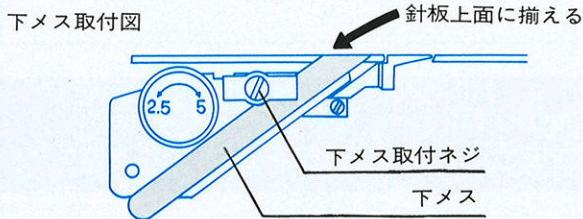
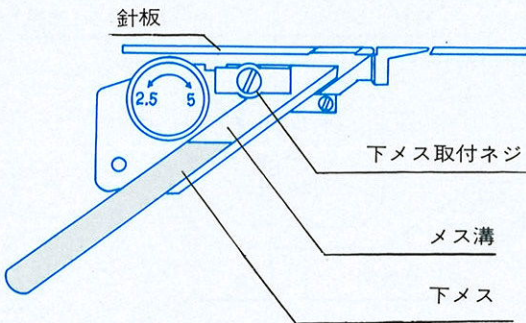
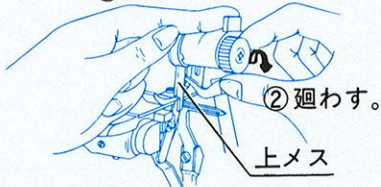
13 メスの交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。メスは消耗品ですので切れなくなったら交換してください。

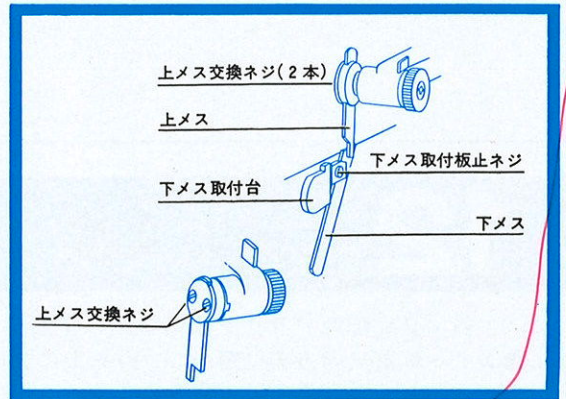
メスが切れなくなった場合通常下メスを交換してください。

13-1 下メスの取りかえ方

① 押す →



- ① 上メスを押しながら、上に回転させる。
- ② 次に下メス取付ネジをゆるめて下メスを下に抜く。
- ③ 新しい下メスを下メス取付台のメス溝に合わせて、下から上に差し込み、下メス刃先が針板上面と同じ高さになるようにして、下メス取付ネジを締めつける。
- ④ 上メスを元の位置に戻す。

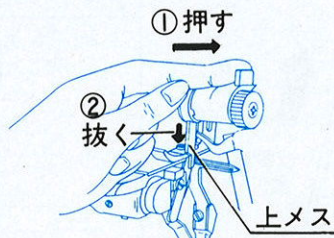


13-2 上メスの取りかえ方

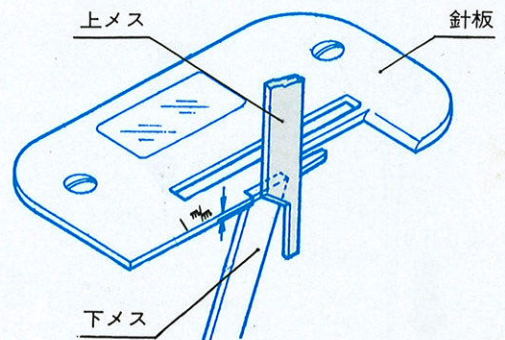
(上メスは長寿命の特殊な材質が使われていますので通常交換の必要はありません。)

上メスがいちばん下った位置で行なってください。

- ① 上メス取付ネジをゆるめて、上メス取付台を右へ押し上メスを下に抜く。
- ② 新しい上メスを上メス取付台に上から差し込む。
- ③ 上メスの手前刃先が下メス刃先位置に対して1mmていど噛み合うように位置決めし、上メス取付ネジを締めつける。



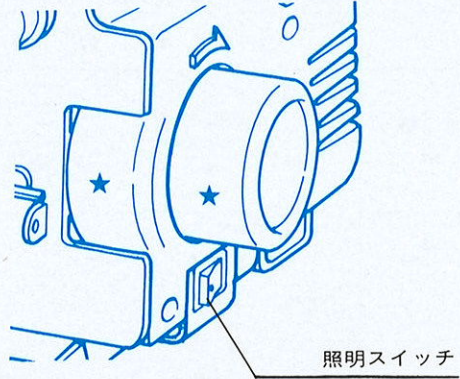
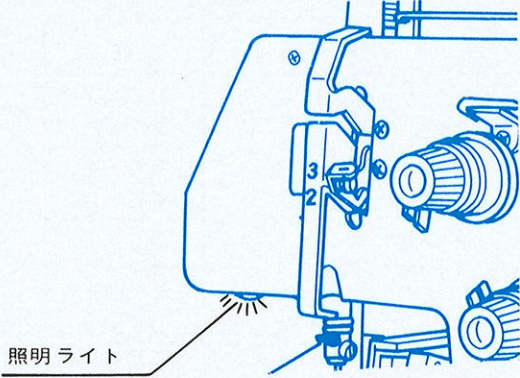
上メス最下位図



14 照明ライトの点灯と取付

14-1 照明ライトの点灯

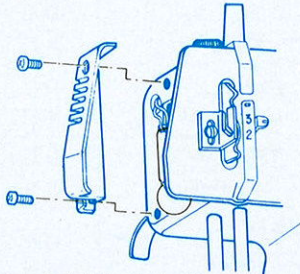
はずみ車の下にある照明スイッチを押すと、本体左側面の照明ライトが点灯します。



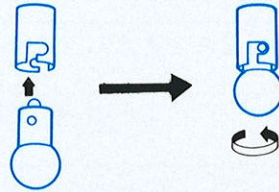
14-2 照明ライトの取付

ライトが切れ、新しいライトを取付ける場合、必ず電源プラグを抜いてから作業して下さい。

① ライトカバーを外す。



② ライトを取付ける。

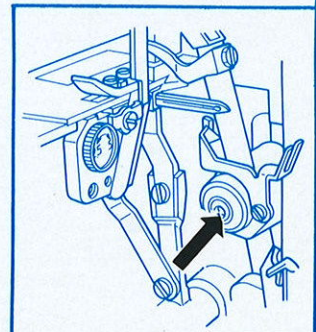
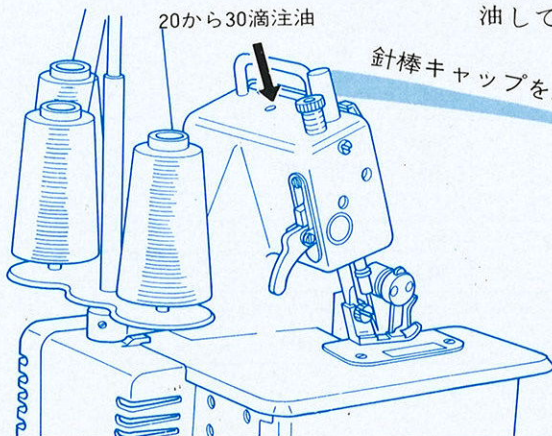


※尚、ライトは最寄りのガソリンスタンド、カーショップ、ペーパーロック取扱店でお求めになれます。
ご購入の際は、古いライトを持参し、同一のライト(12V 6W) とご指定下さい。

15 注油について

この個所のみ
20から30滴注油

このミシンの大切な個所にはすべて特殊な材料(含油メタル)を用いておりますが、図の矢印の個所には定期的に1~2滴注油してください。



16 布地と糸の関連表

〔普通ロックの場合〕

	布地の種類	糸	針
木綿 麻	〔薄地〕 ボイル、ローン、ブロード、ギンガム、亜麻など	テトロン #100 スパン #90	DC×1 #7~11
	〔厚地〕 オックスフォード、デニム、キルティン、ギャバジンなど	スパン #90~60 綿 #80~60	DC×1 #11~14
絹	デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど	絹 #100 テトロン #100	DC×1 #7~11
	〔薄地〕 トロピカル、ポーラ、ポプリンなど	スパン #90 テトロン #80 綿 #80	DC×1 #11
毛	〔普通地〕 サージ、ギャバジン、フラノなど	スパン #90~60 テトロン #80~60 絹 #50	DC×1 #11~14
	〔厚地〕 ベロア、キャメル、アストラカンなど	スパン #60 テトロン #60~50 絹 #50 綿 #60~50	DC×1 #14
化繊 混紡	〔薄地〕 ジョーゼット、ボイル、サテンなど	スパン #90 テトロン #100	DC×1 #11
	〔厚地〕 タフタ、ツイル、ベネシャンなど	スパン #90 テトロン #80~60	DC×1 #11~14
	トリコット（化繊、合繊）	スパン #90 テトロン #80~60	DC×1 #9~11
	ジャージ（毛、合繊）	スパン #60 テトロン #60 ウーリー糸（ナイロン・テトロン）	DC×1 #11~14
	毛糸編地	スパン #60 テトロン #60~50 ウーリーナイロン ウーリーテトロン 極細毛糸	DC×1 #14

〔巻きロックの場合〕

	布地の種類	糸	針
木綿	ボイル、ローン、ブロード、ギンガムなど	テトロン#80とウーリーナイロン スパン #90~80 テトロン #80	DC×1 #7~11
絹	デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど	テトロン #100 絹 #100	
化繊	ジョーゼット、ボイル、サテンなど	テトロン#80とウーリーナイロン テトロン #100	

梱包明細

1. ミシン (モーター付)
2. コントローラーセット
3. ビニールカバー
4. ご使用のてびき
5. 保証書
6. アクセサリー・ボックス

ドライバー(マイナス用)
 針 DC×1
 下メス
 ピンセット
 掃除用ブラシ
 油差し
 木ゴマ受け
 ベビーネット

BL3-418型仕様表

基本項目	仕様
かがり巾	3本糸・2本糸普通ロック 2.5 ^m / _m ～5.3 ^m / _m 3本糸・2本糸巻きロック 1.5 ^m / _m
縫い目(送り目)	1 ～ 5 ^m / _m
針棒ストローク	25 ^m / _m
メス上下量	6.5 ^m / _m
押え上り量	5 ^m / _m
送り歯高さ	0.7 ^m / _m (標準)
使用針	DC×1
使用糸本数	3本、2本
照明ライト	12V 6W
給油方法	油芯装置付手差方式
ミシンの大きさ	タテ 250 ^m / _m ヨコ 250 ^m / _m 高さ 260 ^m / _m
ミシンの重さ	6.5kg (モーター付完成品)

